

平成27年度 米原市東草野地区 自伐型林業可能性調査業務 仕様書（案）

（総則）

本仕様書は、東草野まちづくり懇話会（以下、「発注者」という。）が実施する「米原市東草野地区自伐林業可能性調査業務」（以下、「本業務」という。）に適用するものであり、発注者が見積書作成にあたり必要な事項を定めたものである。

（目的）

本業務は、東草野地区内にある森林において、モデル的に自伐林業の施業を実施するにあたり、その可能性に関する調査（モデル施業地の範囲確認、簡易植生調査、担い手発掘ワークショップの実施、経済性の検討等）を行うことを目的とする。

なお、自伐型林業とは、3トンクラスのミニバックホーで林地内に幅2.5m程度の簡易作業道を整備し、1～2トントラックで木材を搬出するルートを確保することにより、地元の山主や外部からの移住者が少人数かつ低コストで林業を行うことを指し、自伐型林業の実施により、姉川水源の森の適正な管理・森林バイオマスエネルギーの地産地消・雇用の創出・農地への獣害の低減などをめざすものを言う。

（業務場所）

業務場所は、米原市東草野地区（旧伊吹町吉槻区以北）の山林を対象とする。

モデル施業地は、以下の2箇所のうち、東草野の各区が地上権を有する「財産区」部分とする。

1. カン谷
 2. 黒谷
- （詳細は別添の地図参照）

（業務期間）

業務期間は、業務委託契約日（平成27年8月を予定）から平成28年3月15日とする。

（作業項目および内容）

本業務の作業項目及び内容は、以下のとおりである。

【①候補地の範囲確認】

- ・市役所等から該当箇所の地番図および地権者リストを入手し、モデル施業地（＝財産区）の範囲を特定し、その範囲を1/5,000地形図に図示する。
- ・財産区に隣接する森林の地権者や、公道から財産区内に至るまでの森林作業道整備に際して同意が必要となる地権者をリストアップする。

【②高解像度3Dオルソ画像の撮影および解析】

- ・ドローンを利用して、モデル施業地のうち一部分について空中撮影を実施する（撮影範囲は発注者と協議）。
- ・空中撮影した画像を3Dデジタルオルソに加工し、一般的なノートパソコンを使用して住民説明用等に利用できる3Dモデリングデータを作成する。
- ・3Dデジタルオルソ画像を解析して、モデル施業地内の樹種・樹齢別の大まかな植生分布図の作成、および立木材積の推定を行う。

【③講演会および担い手発掘ワークショップの開催】

- ・自伐型林業に関するフォーラム及びワークショップを、適切な指導者を招聘して実施する。
（フォーラムの目的）

- 1) 林業は儲からない、炭焼き同様過去の職業、という固定観念に囚われている地元住民に対し、自伐型林業の経済的可能性や利点（獣害の減少など）への理解を深めること。
- 2) 移住を視野に林業に興味を持つ若者に対し、自伐型林業で生計を立てる暮らしの魅力や心構えなどを伝えること。
- 3) モデル施業地において、来年度から具体的にワークショップ・施業を実施していくことの周知。

（ワークショップの目的）

- 1) 実際に自伐型林業を実施するにあたっての基礎技術を参加者が実地に学びとること。
 - 2) 来年度も継続して有用なワークショップを実施していくことの告知。
- ・ 講演会・ワークショップの講師選定やプログラム内容・行程については受発注者間で協議のうえ決定するが、講師やプログラム内容のコーディネート、講師等への謝金や旅費、労務費は受注者が負担するものとする。
 - ・ 講演会・ワークショップの簡単な実施記録を作成、提出する。

【④山林の利活用形態の提案】

- ・ モデル施業地をはじめとする東草野地域の山林を今後どのように活用し、次世代・次次世代にどのように引き継いでいくべきかを地元住民自身が話し合っていて考えていくにあたり、この地域の特性を踏まえて、魅力的な利活用方法とその根拠を数パターンとりまとめた資料を作成、提出する。

【⑤経済性の検討】

- ・ モデル施業地の地理・地形・植生等の特性を踏まえたうえで、森林経営計画策定にかかる経費、森林作業道を利用した木材の切り出しにかかる標準コストの推定、自伐した木材の樹種・用途別の販売先・販売価格の検討、販売先や集積地への運搬コスト、利用できる補助制度等の検討を行い、最も採算性が高いと考えられる事業推進手法を提案する。
- ・ また、発注者が提供する地元住民のエネルギー使用量を踏まえ、東草野4ヶ字毎の木質ボイラーや太陽熱温水器等の地域暖房設備導入可能性の検討と、供給可能な熱量や温水量の試算を行い、とりまとめて提出する。

（業務打合せ）

打合せについては、主として次の段階で行う。

- | | |
|-------|--------|
| 第1回 | 作業着手段階 |
| 第2-4回 | 中間 |
| 第5回 | 最終 |

（成果品）

成果物は、下記のを1部ずつ作成・提出する。なお、電子データはCD-ROMにとりまとめて提出する。

- ①-a 地番図および地番リスト（紙および電子データ）
- ①-b 隣接地および作業道予定地の地権者リスト（紙および電子データ）
- ①-c モデル施業地範囲図（1/5,000）（紙および電子データ）
- ②-a 3Dモデリングデータ（一般的な3次元CADソフトで読み込み可能な形式とする）と、それをPC上で閲覧・操作するためのフリーソフト、およびその操作説明書（電子データのみ）

- ②-b 樹種・樹齢別植生分布図（1/5,000 以上）（紙および電子データ）
- ②-c 立木材積推定表（紙および電子データ）
- ③-a 講演会・ワークショップ実施記録（プログラム、当日配布資料、当日写真、動画等）
（紙および電子データ）
- ③-b 作成した広報物（チラシ、ポスター、facebook イベントページのスクリーンコピー等）
（紙および電子データ）
- ④-a 東草野地区での山林利活用方法の提案資料（紙および電子データ）
- ⑤-a 東草野地区での自伐型林業推進手法提案資料（紙および電子データ）
- ⑤-b 東草野地区での地域暖房等試算資料（紙および電子データ）

（その他）

本業務は、農林水産省「平成27年度農村集落活性化支援事業」の補助を受けて実施する。